

NPOフォーラム・だより No.64

2015. 2. 1



NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp>

会員・寄付募集中！ ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム
年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり)/B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

青木繁《海の幸》誕生の家・小谷家住宅の保存基金

館山市ふるさと納税のご協力のお願い！

小谷家のご厚意と全国の画家の皆さん(NPO青木繁「海の幸」会)のご支援により、修復を経て来春に「青木繁《海の幸》誕生の家」として一般公開の予定ですが、保存基金はまだ充足していません。館山市ふるさと納税では、「小谷家住宅の保存と活用に関する事業」を指定して、税控除対象の寄付が可能です。

残りの目標額は 1 千万円 (1 万円×1,000 人) です。地域活性化のために、お力添えのほどお願い申し上げます。 ※入金の際は氏名公表可をお選び下さい。



■ 館山地区公民館の「戦争を語る会」

- ◎ 2月9日(月) 13:30~16:00 館山地区公民館 講師: 愛沢伸雄
話題提供者: 山口栄彦(『鯨のたれ』著者) 豊崎栄吉(布良の船大工) ほか漁師ら
「戦後70年」を迎え、戦争と漁業の関係を中心に証言を語り合う。

■ シンポジウム館山まるごと博物館 ~ 戦跡と文化財を活かした持続可能なまちづくり

- ◎ 2月21日(土) 13:30~16:00 南総文化ホール小ホール
地域報告: 館山のエコミュージアム運動の展開 長谷川會乃江(中央大学兼任講師)
パネルディスカッション
十菱駿武・村上有慶(戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)
杉江敬(館山市市長公室企画課副課長) 愛沢伸雄(NPO安房文化遺産フォーラム代表)

予告 2015年9月5・6日(土日) 第19回戦争遺跡保存全国シンポジウム館山大会を開催!

※ 館山の戦跡を舞台に撮影された映画『赤い鯨と白い蛇』同時上映

監督: せんぼんよしこ 出演: 香川京子、浅田美代子、樹木希林

■ ヘリテージまちづくり講座 ~ 古文書の修復講座

【要予約】

- ◎ 3月5日(木) 10:00~16:00 館山地区公民館 講師: 安藤憲和(安藤表具店主)
布良の小谷家や南条の小原家などの旧家から明治期の貴重な資料が大量に発見され、館山の近代史が明らかになりつつある。しかしその多くは虫食いや風化で傷んでおり、保管技術の習得が緊急課題となっている。古文書の裏打ちなど劣化を防ぐ修復方法を、午前は講義、午後は実習で学ぶ。

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

- 2月 4日(水) 10:30~11:20 調布市公民館 37名(赤山のみ)
2月 5日(木) 11:00~15:30 東京海洋大学・中田ゼミ 10名(座学・大房岬)
2月 7日(土) 11:00~16:00 君津市八重原公民館 30名(座学・赤山・かいた村)
2月 8日(日) 11:00~16:00 軸俳句会 40名(座学・赤山・掩体壕・布良)
2月21日(土) 9:30~12:00 赤山地下壕ガイドサービス
3月 1日(日) 9:30~12:00 赤山地下壕ガイドサービス
3月 4日(水) 10:30~14:30 浦安市日出公民館 20名=座学・赤山・布良
3月10日(火) 11:00~16:00 ふなばし女性会議 9名=座学・赤山・かいた村
3月19~20日(木金) JR東日本ヒューマン研修 50名

ガイドの見習い、アシスタントを随時募集しています。関心のある方はツアーガイドにご同行下さい。

* ディスカバリー・ニッケイに「太平洋を渡ったあわびダイバーたち」(山口正明)が掲載されました。

<http://www.discovernikkei.org/ja/journal/2015/1/30/awabi-diver/>

◎ ウガンダへ、安房南高校のセーラー服生徒像ブロンズを寄贈！



安房の高校生によるウガンダの子どもたちへの支援交流 20 周年を祝して、旧安房南高校美術教師で彫刻家の船田正廣氏より寄贈されたブロンズ像が、無事にウガンダのアワミナミ洋裁学校へ到着したとのことです。

旧安房南高校のセーラー服姿の女生徒像を、友情の証として末永くかわいがって欲しいという船田さんの希望どおり、センパラさんの孫娘が銅像を抱きしめている写真が送られてきました。

支援活動を継承している私立安房西高校JRC部の募金とバザー売上、安房平和のための美術展実行委員会のチャリティ基金、NPO安房文化遺産フォーラム会員等の篤いご寄付は、ブロンズ像の送料(約 20 万円)とパソコン購入費(500 ドル)の送金に充当させていただきました。

20 周年記念誌は館山信用金庫のふるさと応援ファンドにより制作し、編集およびセンパラ氏との通信は筑波大学大学院の河辺智美さん(安房高校卒業)、冊子および通信の翻訳は旧安房南高校英語教師の矢田健志氏のご尽力によります。センパラ氏より、関係する皆様に御礼のメッセージが届きましたので、ここにご紹介いたします。

親愛なる船田正廣様、皆様

たとえ逆境にあっても暖かい笑顔が浮かぶ、アフリカの真珠・ウガンダからご挨拶を送ります。素晴らしいブロンズ像をいただき、本当に嬉しく光栄で胸が高鳴りました。この事業に関わり尽力してくださった愛沢伸雄さんはじめ、すべての皆様に愛と感謝を捧げます。私たちの友情が 20 年続いた記念に、栄えある現実の形として贈り物を下されたことに敬意を表して、出会いからの歩みを振り返りたいと思います。

1994 年、私は米山財団の支援により日本を訪問し、栃木県のアジア学院で農村指導者の研修に参加しました。このとき、「かにた婦人の村」との縁により安房南高校と愛沢伸雄さんに出会いました。ここから始まった温かい支援は毎年続き、貧しく恵まれない子どもたちの生活環境を改善することが可能になりました。そして彼らの人生に大きな影響をもたらしたのです。

このメッセージを書いている現在も、ウガンダでアワミナミ洋裁学校を運営している私たちは、さらなる高みを目指して日々邁進しています。これまでの年月を振り返ると、とても心強く感じ、そして励まされ、奉仕の仕事を続けることができます。

この記念像は表彰といえる栄誉です。それは、ウガンダの私と一つに結ばれた皆さんの心に対する賞といえます。私たちの抱える課題に、皆さんが共に取り組んでくださったからこそ、私たちは大きな成果を成し遂げることができました。20 年にわたって支援を受けたすべての子どもたち、CUFI のスタッフ、ウガンダのアワミナミ洋裁学校を代表して、ありがたくこの賞をいただきます。

私たちが今行なっていることは、貧しく弱い者が自立する力をつけるための未来への種まきです。そして、皆さんも一緒に行なっているのだということを、どうか忘れないください。

感謝をこめて、神のご加護を祈っています！

ウガンダ意識向上協会(CUFI) 代表 スチュアート・センパラ

★婦人保護長期収容施設「かにた婦人の村」バザーのお知らせ★

2 月 20・21 日(金土) 8:30~14:00 ボランティアスタッフ参加可能な方は連絡ください。